

安全には対話必要

〇〇〇〇

日〇〇〇(さ)いたま市、若林直樹(社長)は、さいたま市の大宮ソニックシティで、2024年度全社



安全大会を開いたII写真。社員82人、協力会社21人の計103人が参加した。

若林社長は、「現場の安全に必要なのはコミュニケーションを深めることだ」と語り、相手の話をよく聞き、相手に合わせて話し、意見が異なる場合は、すぐに否定するのではなく、相手の考えを受け入れることが大切だと訴えた。また、安全衛生パトロールにより、「現場の潜在的な危険を発見し、命を守ることの重要性を学ぶことは、人間の力量の向上を目指すことにつながる」と話した。

続いて、新井美智雄氏(さくしん)が安全衛生協力会会員を代表してあいさつした。安全衛生表彰などの後、ドクタートラスの笹井裕介産業保健本部精神保健課長が睡眠とアルコールをテーマに講話した。

(7・11)

